平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	295		
会計	一般会計				
事務事業名	社会教育指導員設置事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	市民
	意図	全市的な課題に対しての学習活動を支援する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	20地区公民館は、それぞれの地域の特徴を活かした活動を進めていますが、飯田市公民館は全市的なテーマを設定した学習交流事業を開催したり、社会や地域が変化する中で新たに取り組むべき課題を掘り起こして各地区公民館の活動に結びつける役割を持っており、事業構想力が求められています。女性や高齢者、子育てなどに関わる現代社会が抱える今日的な課題に対し、社会教育コーディネーターを配置し、解決に向けた事業展開を進めます。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	社会教育コーディネーターを配置し、次の取組を展開します。 ・多文化共生に関わる事業(文化庁委託日本語教育事業) ・子育て支援事業（子育て講座や子育て支援リーダー育成講座） ・フィリピンレガスピプロジェクト（JICA委託事業窓口事務）・交流と学びの会の支援 ・若者を対象とした事業（地域に愛着を抱き活動する学びあいのネットワークづくりを進める若者講座） ・その他新たな課題に対応する講座等の開催	社会教育コーディネーター賃金（2名）	3,951
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	活動日数	日	482	482		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	3,951	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,951	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	2	3,951 / 0	社会教育指導員設置費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 295　事業名 社会教育指導員設置事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	306		
事務事業名	公民館維持管理事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等		社会教育法	
		○	飯田市公民館条例	
			建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令	

事業目的		
	対象	公民館施設及びその利用者
	意図	施設の適正な維持管理により、安全安心で快適な学習環境を提供して社会教育の振興に努める

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	築30年を超える施設が多く、老朽化に伴って改修修繕の必要箇所が年々増加しています。 快適な環境を提供するためにエアコンを整備しているが、それに伴って光熱水費が増大しています。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・21公民館の貸館業務を行います。 ・施設設備の適切な維持管理を行います。 ・必要な箇所において修繕改修を行います。	臨時職員賃金	25,001
		燃料費	8,073
		光熱水費	27,122
		委託料	33,686
		借地料	10,365
		修繕料	4,164
		その他の経費	9,913

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	公民館利用回数	回	35,000	35,000		
	公民館利用者数	人	685,000	685,000		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	118,324	(そ) 公共物占有料　47千円 (そ) 飯田市公民館使用料　4,785千円 (そ) 地区公民館使用料　9,042千円 (そ) 諸収入　580千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	14,454	
	一般財源	103,870	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	10	1	118,324 0	公民館管理・運営費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 306　事業名 公民館維持管理事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
電気の消費	○			×	―	×	―	×	―		消防法	防火管理者の選任、消防用設備の点検、避難訓練の実施		○
水の消費	○			×	―	×	―	―	―		灯油タンクの管理		○	
ガスの消費	○			×	―	×	―	×	―					
灯油の消費	○			×	―	×	―	×	―	○				
おひさま発電所の設置	○			○	―	○	○	―	―					
灯油保管施設の維持管理	○			×	―	―	―	×	―					
地震火災等の発生			○	×	×	―	―	―	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
	灯油使用量を 平成29年度は 前年比98%に節約する					

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	307		
会計	一般会計				
事務事業名	南信濃学習交流センター維持管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等	○	飯田市南信濃学習交流センター条例	
			建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令	

事業目的		
	対象	施設設備及びその利用者
	意図	施設の適正な維持管理により、安全安心で快適な学習環境を提供する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	かつて公民館だった経過や図書分館が併設され南信濃地区にとって身近な施設ですが、施設を管理する臨時職員の安定的確保が難しい状況にあります。

30年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・施設の貸館業務を行います。 ・施設設備の適切な維持管理を行います。 ・必要な箇所において修繕改修を行います。 ・図書分館としての機能しています。	燃料費	28
	光熱水費	692
	修繕料	120
	通信運搬費	127
	委託料	625
	その他の経費	56

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
南信濃学習交流センター利用者数	人	8,000	8,000		

30年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	1,648	(そ) 南信濃学習交流センター使用料　5千円
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	5	
一般財源	1,643	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	10	3	1,648 0	南信濃学習交流センター管理・運営費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 307　事業名 南信濃学習交流センター維持管理事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―		火災予防条例	灯油タンクの管理		○
電気の消費	○			×	―	×	―	×	―		地下タンクの破損や事故が起きた場合の措置		○	
水の消費	○			×	―	×	―	―	―					
ガスの消費	○			×	―	×	―	×	―					
灯油の消費	○			×	―	×	―	×	―					
灯油保管施設の維持管理	○			×	―	―	―	×	―					
地震火災等の発生			○	×	×	―	―	―	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	308		
会計	一般会計				
事務事業名	地域の乳幼児親子学習交流支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	入園前の乳幼児の親
	意図	親同士が交流と学習を深め、子育ての情報や知識を得るとともに、悩みを共有し自身の生き方を考える機会となる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	少子化や親の就労による未満児保育世帯の増加等により参加者数は減少傾向にありますが、親が孤立することなく安心して地域で子育てができるよう全地区において乳幼児学級を展開しています。保健師や関係機関との連携を深め、より充実した内容となるよう展開します。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地区公民館事業 各地区において、乳幼児の子どもを持つ親同士が交流する機会を提供し、悩みの相談、学習を通じた子育てに関する情報交換や知識を得る活動を支援します。	乳幼児学級の開催	1,355
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	乳幼児学級・講座の開催回数	回	700	700		
	学級・講座に参加した親子の延べ人数	人	11,000	11,000		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,355	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,355	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	1,355 / 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 308　事業名 地域の乳幼児親子学習交流支援事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	309		
会計	一般会計				
事務事業名	地域の学齢期親子学習交流支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	学齢期の子どもをもつ親
	意図	親同士が交流と学習を深め、子育てに関わる知識を得るとともに悩みを共有する機会となる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	家庭の教育力が低下する中、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる意識を育むことが求められており、全地区での取組を進めます。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地区公民館事業 学校やPTAと連携し、各地区の学齢期の子どもを持つ親同士が交流し、学習を通じた子育てに関する情報交換や知識が得られる活動を支援します。	家庭教育講座・講演会・親子体験教室等	591
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	学級・講座の開催回数	回	130	130		
	学級・講座に参加した親子の延べ人数	人	5,000	5,000		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	591	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	591	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	591 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 309　事業名 地域の学齢期親子学習交流支援事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	310		
会計	一般会計				
事務事業名	地域の人権平和・多文化学習交流支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	各地区住民
	意図	身近な地域の中での学習と交流を通じて、相互の違いや多様性への理解を深める

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	互いを尊重し支え合う社会をめざすためには、日々の暮らしの中での人権・平和に対する意識の向上は欠かせないことであり、特に外国人が集住する地域においては、文化の違いや多様性を理解することが課題となっています。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地区公民館事業 住民相互の文化の違いや多様性を理解し、人権・平和の意識を高める学習や交流を各地区で展開します。	人権教育・平和学習会、多文化共生事業等	386
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	人権・平和学習会、交流会開催回数	回	70	70		
	講座等参加者延べ人数	人	1,500	1,500		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	386	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	386	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	386 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 310　事業名 地域の人権平和・多文化学習交流支援事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	311		
会計	一般会計				
事務事業名	地域の芸術文化学習交流支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	各地区住民
	意図	地域の芸術・文化の学習や体験、交流を深め、地域文化の価値に気づく機会となる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	各地区には芸術文化活動をするグループ・サークルが多数存在していますが、身近に芸術文化に親しむ機会を提供することにより、活動の充実と学習意欲を高めるための取組をめざします。また、地域文化の価値に気づき、伝統芸能を継承する次世代の育成にも取り組みます。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地区公民館事業 地域の芸術・文化にふれ、体験する学習や交流を各地区で展開するとともに、伝統文化の継承活動を支援します。	ふるさとコンサート、伝統文化継承事業等	845
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	講座等開催数	回	120	120		
	延べ参加者人数	人	3,500	3,500		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	845	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	845	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	845 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 311　事業名 地域の芸術文化学習交流支援事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	312		
会計	一般会計				
事務事業名	地域の多様な学習交流支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	各地区住民
	意図	地区の特色を生かした多様で主体的な学びを深め、地域を知り人とつながる機会となる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	住民の主体的な学習活動を通じて、公民館は住民自治の意識を育む役割を担ってきていますが、さらに多様な学びと交流の機会を提供することで、地域の課題解決に向けた事業展開や学習活動となるよう支援していきます。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地区公民館事業 各地区の特色を生かした多様で主体的な学習交流活動を支援します。	各種学級・講座、交流事業等	2,082
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	講座等開催数	回	390	390		
	延べ参加者人数	人	12,000	12,000		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	2,082	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,082	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	2,082 / 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 312　事業名 地域の多様な学習交流支援事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	313		
事務事業名	郷土（地区）を学ぶ活動支援事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	各地区住民
	意図	地域資源を生かした学びと交流を深め、郷土に愛着や誇りを感じる機会となる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	リニア時代を迎える将来、多様性・特異性をもったこの地域の価値に気づく人材の育成が課題となっています。各地区では、自身が暮らす地域に焦点をあてた郷土学習を重点的に展開しており、地域への愛着を感じる機会となっています。地域資源を生かした実践的な学びと交流活動を通じて、次世代へつなぐことをめざします。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地区公民館事業 自然や歴史・文化等の地域資源を学び交流を深める機会を通じて、自身が暮らす地域を知り、郷土愛を育む活動を支援します。	ふるさと学習・教材作成事業等	814
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	講座等開催数	回	220	220		
	述べ参加者人数	人	7,000	7,000		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	814	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	814	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	814 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 313　事業名 郷土（地区）を学ぶ活動支援事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	314		
会計	一般会計				
事務事業名	地域の健康学習交流支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	各地区住民
	意図	仲間との学習を深め、自身の健康に関心を持つことができる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	生涯健康でくらし続けられるために、自身の健康に関心をもち深め合う学習機会の提供を進めてきています。保健課や生涯学習・スポーツ課との連携を図って事業の充実をめざします。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地区公民館事業 気軽に取り組めるニュースポーツや健康講座、ウオーキング講座、運動会等を通じて、健康に関心をもつ学習活動を支援します。	ウオーキング・ニュースポーツ等健康講座	268
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	講座等開催数	回	90	90		
	述べ参加者人数	人	2,000	2,000		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	268	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	268	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	268 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 314　事業名 地域の健康学習交流支援事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	315		
会計	一般会計				
事務事業名	地域の環境学習交流支援事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	各地区住民
	意図	地域の環境に関心を持ち、住民同士の学習・交流を深め、環境保全や改善活動に取り組んでいる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	温暖化や里山荒廃、鳥獣被害など地球規模の環境問題が身近な課題となっている状況において、多様な環境学習を通じて身近な自然環境に関心をもち、保全・活用などの実践的な取組を行うことのできる意識づくり、人づくりが課題となっています。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地区公民館事業 地区内の身近な自然とのふれあい活動を通じ、住民同士の交流を深め、環境保全や改善活動に取り組む活動を支援します。	地域資源保全活動、自然・環境学習等	266
		その他の経費	0

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	講座開催数	回	100	90		
	延べ参加者数	人	4,400	4,000		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	266	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	266	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	266 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 315　事業名 地域の環境学習交流支援事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	316		
会計	一般会計				
事務事業名	家庭教育推進事業（公民館）	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	全市域の学齢期未満の親子
	意図	子育ての悩みを解消するための親同士の学習や交流ができる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	市内で活動する子育てサークルのリーダーのネットワークづくりを支援することは、新たな仲間づくりや子育てについての悩みなどを情報交換・共有する機会を充実させることにつながります。また、必要に応じて飯田女子短期大学と連携により、大学の知見を活かした取組を進めます。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	子どもを持つ親を対象に、学習活動や親同士の交流機会を提供するとともに、地域における子育て支援リーダーの育成に取り組みます。	子育て講座、リーダー育成事業、情報誌発行等	148
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	講座等開催数	回	20	15		
	講座等参加者延べ人数	人	1,000	600		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	148	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	148	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	148 / 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 316　事業名 家庭教育推進事業（公民館）　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	317		
会計	一般会計				
事務事業名	人権平和・多文化学習交流推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	市民
	意図	外国人住民と日本人住民が互いに学び合い、相互理解を深めてより良い関係を築く

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	外国人住民が地域で安心して生活していくためには、近隣の日本人とのつながりが重要であり、そのための日本語習得は欠かせないものです。日本人住民も文化の違いや日本語習得の難しさを理解し寛容となることが求められています。日本語学習を通じた交流と学びを深め、人権・平和、多文化共生について考える機会の提供をめざします。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	市内の外国人住民の日本語学習や市民ボランティアと交流しながら地域や暮らしに関する知識を得ることを通じて、相互理解を深め人権・平和の意識向上に取り組みます。	日本語教育推進事業（文化庁委託事業）	1,500
		多文化交流広場「わいわいサロン」	55
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	講座開催数	回	75	75		
	延べ参加者数	人	750	750		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,555	（国）文化庁委託事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 （10／10）　1,500千円
	国庫支出金	1,500	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	55	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	1,555 / 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 317　事業名 人権平和・多文化学習交流推進事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	318		
会計	一般会計				
事務事業名	市民の学習交流推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
		○	飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	市民
	意図	多様で主体的な学びと交流を深め、地域を知り人とつながる機会となる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	全市民を対象とした主体的な学びと交流の機会を提供することで、飯田市に関心を持ち、この地域に関心をもち課題解決に向けた取組を進める意識を育むことは重要であり、特に次世代を担う人材の育成は課題です。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	多様な分野の学びと交流の機会を提供し、市民の主体的な学習意欲を育みます。また、地域の課題の把握とその解決に向けた主体的な学習活動の組織化の支援を行います。	公民館大会、各種講座・学習会等	1,635
		成人式	2,000
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	講座開催数	回	30	30		
	述べ参加者数	人	2,500	2,500		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	3,635	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,635	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	3,635 / 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 318　事業名 市民の学習交流推進事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

		課等No.	51	事業No.	319
事務事業名	高校生等次世代育成事業（旧地域人教育支援推進事業）	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始	H24	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
			飯田市教育振興計画	
			飯田市公民館基本方針	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	

事業目的		
	対象	飯田下伊那の高校生
	意図	地域の歴史・文化・風土や産業と取組を支える人に学び、自身の生き方を考える機会となる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	新学習指導要領では、「主体的で、対話的で、深みのある学び」としてアクティブラーニングという教育方法の教育現場での活用が謳われていますが、この方法は社会教育の専門領域でもあり、高等学校において、社会教育現場での成果を学校教育における実践に結び付けることができるような連携が課題です。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	海外との比較の中でふるさと飯田の魅力を再確認し、地域に誇りと愛着を持ちグローバルな視点で地域の将来ビジョンをデザインできる人材を育成します。また、地域に愛着を持ち、地域に貢献する次世代を担う人材を育む高校生教育に取り組むとともに、飯田下伊那各校の生徒と地域を結びつける教育活動への支援を行います。	高校生講座(カンボジア・スタディツアー)	2,131
		若者講座	195
		地域人教育	29
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	公民館が地域とつないだ高校の数	校	4	4		
	地域人教育に参加した生徒の数	人	240	240		
	スタディツアーに参加した生徒の数	人	18	16		
	高校生が関わった地域の数	地区	8	8		
	若者講座の参加者数					

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	2,355	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,355	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	11	2	2,355 / 0	公民館事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 319　事業名 高校生等次世代育成事業（旧地域人教育支援推進事業）　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	320		
事務事業名	公民館改修事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等		社会教育法	
			飯田市公民館条例	
		○	建築基準法、消防法等の施設保全上の関係法令	

事業目的		
	対象	公民館施設及びその利用者
	意図	施設の適正な維持管理により、安全安心で快適な学習環境を提供して社会教育の振興に努める

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	施設の老朽化に伴い改修修繕の必要箇所が年々増加しています。緊急性等を考慮しながら計画的・効率的に改修を進めるとともに、築30年を超え、老朽化が著しい公民館は大規模改修を計画する必要があります。 市公民館、鼎公民館は、躯体や外壁、特定天井等の耐震補強が必要な部分があります。また両ホールともに照明、音響は経年劣化により更新が必要になっています。文化会館も含めたホール施設のあり方の検討を進めながら必要な改修に取り組む必要があります。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	市公民館、鼎公民館の特定天井耐震診断を行います。 伊賀良公民館便所改修工事等を行います。 施設設備の老朽化が著しい公民館について、大規模改修計画をたてます。	耐震診断業務委託料	627
		施設改修工事費	7,150
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	改修実施箇所数	件	3	2		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	7,777	(地) 緊急防災・減災事業債 (充当率100%)　600千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	600	
	その他	7,177	
	一般財源	0	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	12	2	7,777 / 0	公民館改修事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 320　事業名 公民館改修事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	51	事業No.	321		
会計	一般会計				
事務事業名	勤労青少年ホーム運営事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	公民館	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等		社会教育法	
		○	飯田市勤労青少年ホーム条例、飯田勤労者体育センター条例	
			消防法等の施設保全上の関係法令	

事業目的		
	対象	勤労青少年ホーム利用対象者
	意図	勤労青少年等を対象にした学習活動や余暇利用活動を支援し、次代を担う若者の定住を促進する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	利用者数等が減少傾向にあります。体育協会との合同事務所となっているため、スポーツ面で青少年のニーズに沿った新規事業を開拓していけるよう取り組んでいく必要があります。ニート・引きこもりの青少年を対象とした若者の居場所づくりなどの新たな機能を付加した事業を展開していく必要があります。指定管理を含めた今後の施設のあり方について、検討を進める必要があります。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	同一敷地に所在する飯田市勤労青少年ホーム、飯田勤労者体育センター、飯田市総合運動場に指定管理者制度を導入します。 今まで行ってきた管理運営内容を継承しながら、窓口時間の延長やした民間活力を活用した自主事業の充実などに取り組みます。	指定管理料	10,790
		その他の経費	251

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度	平成32年度
	勤労青少年ホーム利用者数	人	6,000	6,000		
	第一・第二体育館利用者数	人	45,000	45,000		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	11,041	(そ) 諸収入　200千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	200	
	一般財源	10,841	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	14	2	11,251 / 0	勤労青少年ホーム管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 321　事業名 勤労青少年ホーム運営事業　　公民館

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―		火災予防条例	灯油タンクの管理		○
電気の消費	○			×	―	×	―	×	―		地下タンクの破損や事故が起きた場合の措置		○	
水の消費	○			×	―	×	―	―	―					
ガスの消費	○			×	―	×	―	×	―					
灯油の消費	○			×	―	×	―	×	―	○				
おひさま発電所の設置	○			○	―	○	○	―	―					
灯油保管施設の維持管理	○			×	―	―	―	×	―					
地震火災等の発生			○	×	×	―	―	―	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
	灯油使用量を 平成29年度は 前年比98%に節約する					